

令和7年度宇都宮市役所環境マネジメントシステム (もったいないEMS)の監査結果と改善提案への対応について

◎ 趣旨

令和7年度もったいないEMSの監査結果と改善提案への対応について報告するもの。



1 令和7年度もったいないEMS監査結果と改善提案への対応について

(1) 監査結果について

監査種別	監査対象	監査期間	監査員	監査事項	監査結果
内部監査	産業政策課など 30部署	令和7年 8月～10月	各部総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の周知 ・環境目標・行動計画 ・環境法令の順守管理※ ・研修の実施 	優 良： 3部署 適 正： 27部署
外部監査 (各部署)	管財課など 10部署	令和7年 7月	宇都宮大学 地域デザイン学部 学生8名	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル・手順書の管理 ・指定管理者への対応※ ・緊急事態への対応※ ・各所属長，環境管理担当の役割 	指摘事項：0件 改善事項：0件 観察を要する事項：0件
外部監査 (事務局)	環境創造課	令和8年 1月28日	NPO法人 栃木県環境 カウンセラー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・各監査結果を踏まえた運用状況の確認 ・新たな施策 ・特記すべき実績 ・今後の目標 ・前回の外部監査に対する対応 	指摘事項：0件 グットポイント：4件 改善提案事項：5件

※が付いている項目は，該当課のみ対応

1 令和7年度もったいないEMS監査結果と改善提案への対応について

(2) 事務局監査における改善提案事項への対応

No.	改善提案の内容	改善提案への対応
1	【内部監査体制について】 自部門の内部監査を実施しているケースを確認した。 公正、公平性を担保する意味からも、自部門以外の監査実施を推奨する。	内部監査の実施方法について見直しを行い、監査の公平性・透明性を確保するため、今後は自部門以外の部門による内部監査を実施する体制とする。
2	【様式の記載漏れについて】 記載漏れや自己評価の評価ミスを確認した。 これらの入力不備の予防、確認ができる様式やシステムの導入を検討されてはどうか。 また、入力されたデータを活用できるシステムを検討してはどうか。	記載漏れの防止および入力データの有効活用を図るため、キントーン等を活用することを検討し、様式の改善を行う
3	【緊急事態への対応について】 緊急事態の対応として、緊急事態の特定理由、使用する手順書、実施した訓練の有効性についても記載してはどうか。	実施した訓練の評価を記載する項目を様式4に追加する。
4	【環境管理委員会の議事録について】 環境管理委員会の検討結果に関する記録が無かった。 環境管理システムの継続的改善のためにも、検討結果の記録は残すことを推奨する。	委員会から意見が無い場合においても、意見がなかった旨を記録として残すこととする。
5	【見直し指示書の運用方法について】 見直し指示書（様式6）について、運用方法の記載および運用実績が確認できなかった。 不適合発生時のみの使用に限らず、実績確認後の代表者からの意見として通知する運用を検討されたい。	見直し指示書（様式6）について、代表者からの意見を広く周知する運用方法へ変更する。

2 令和8年度の取組方針について

(1) システム全体の運用

- ・ もったいないEMSについては、監査結果からシステムが適正かつ効果的に機能していることが確認されたため、外部監査の講評を踏まえつつ、引き続き現システムを継続していく。

(2) 各取組の推進

- ・ 「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標を達成するため、引き続き、現システムの円滑な運用を図りながら、**ごみ排出抑制、グリーン購入の推進、ZEB化やLED照明の導入による省エネの推進、公用車の電動化、太陽光発電等による再生可能エネルギーの導入、地域新電力等からの再エネ電力調達の拡大等**により、一層の温室効果ガス排出量の削減など環境負荷の低減に取り組む。